

<教育利用> ② 8年生国語科の物語におけるAI主人公との対話を通じた主人公象の構築

単元 走れメロス

単元の目標 メロスの中にある人間らしい葛藤に気付き、自分と重ね合わせながら、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。

自分

死刑場まで走る間あなたはあきらめようとは思わなかったのですか？

自分達の描いたメロス象をAIの回答をもとにして修正し、新たなメロス象を構築していく

Copilot

このチャットでは、個人と会社のデータが保護されています

セリヌンティウス、我が親友よ。私は死刑場へ向かうその瞬間、心の中で激しい葛藤に苛まれた。疲れは肉体を襲い、足は重くなり、息は切れた。しかし、私はあきらめなかった。君のため、正義のため、そして友情のために走り続けた。暴君ディオニスに立ち向かう覚悟を持ち続けたのだ。その決意が私を支え、死刑場へと駆り立てたのだろう。

Copilot

○生成AI活用のポイント

今回の学習では教科書にのっているメロスの心情や行動を読み取ることでメロス像を個人やグループで構築した。自分達が考えたメロス像が正しければ、質問にはこんな風にこたえるはずだという予想を立てながら、生成AIにメロスになりきってもらい質問を投げかけていった。そこでの回答を参考にしたり、疑うことで新たなメロス像を構築していった。教科書では描写されていない発問を投げかけることで、この先のメロスの物語を考える活動も行った。

○生成AI活用における成果と課題

自分達が考えたメロス像と生成AIになりきってもらったメロスの回答を比較しながら、新たなメロス像を構築することができた。AIの出した回答を受けて、自分達の考えたメロス像は間違っているとしてしまう生徒もいたので、注意が必要である。